

STOP THE CORONAVIRUS



水戸シニアアンサンブル 代表 中神 茂

首都圏での新型コロナ感染拡大を受けて3月から私達の練習場所である水戸市社会福祉協議会のボランティア会館も閉鎖となり集合練習の中断を余儀なくされました。毎回の練習ではほぼ100%の出席率だった団員の落胆は想像以上のものでした。

約4か月の中断を経て6月24日の再開ではどの顔も満面の笑みで溢れてはいたものの感染への不安を抱えながらの練習となりました。ボランティア会館の配慮で従来の練習場所から一回り大きな部屋をお借りする事が出来るようになりました。弦楽器キーボードドラムは全員マスクの使用、管楽器は間隔を空けての飛沫拡散防止に努めております。12月に予定をしておりました第三回クリスマスコンサートの中止を決めましたが無観客での演奏会を実施することにしました。各自がコンサートに向けて練習の成果を発揮し調和の取れたまさに響きあいになると確信しています。

石岡シニアアンサンブル 副代表 園山義明

当楽団が常時練習場になっている公民館が3月から使用禁止となり、3～5月の間、楽団の活動も休止状態になりました。6月に予定されていた美野里町ミノレでの公演も残念ながら中止となりました。

それでも6月からは、恐る恐る練習を再開しております。だっ広いスペースで、団員どうしの距離を確保しながら。まずは、本年2月の4楽団交歓演奏会を、さらには我が楽団の第2回定期演奏会を目標に頑張っています。

ところで、コロナ禍で印象に残った音楽シーンが2つありました。1つ目は新日本フィル楽員による「パプリカ」のテレワーク演奏。ネット上で大編成の合奏もできてしまう時代です。我々シニアもITを使いこなしてやってみたいですね。2つ目は、クレモナ在住日本人ヴァイオリニストが医療従事者に感謝を込めて行った演奏。病院の屋上で弾いた「ガブリエルのオーボエ」はクレモナの町に、厳かに響きわたっていきました。暫し手を休め、聴き入る白衣の人々、本当に魂が揺さぶられる感動的な光景でした。

足立シニアアンサンブル 代表 高橋昭五

足立シニアアンサンブルは毎週日曜日、足立区立栗原小学校の音楽室をお借りして練習しておりますが、この度のコロナ禍のため学校開放が中止になり3月から6月まで練習を中止しました。その後、団員の居住する団地の集会所をお借りして練習を開始しましたが、来る10月18日から再び栗原小の音楽室で練習が出来ることになりました。コロナ禍のため例年実施されている施設訪問演奏（5月）足立区音楽祭（9月）及び第14回定期演奏会（10月）がすべて中止になりました。

定期演奏会は隔年、全国大会のない年度に開催して来ましたが、練習日程が整わず止む無く中止に致しました。演奏曲目にはベートーヴェン作曲の田園交響曲第1楽章や時代劇絵巻「ああ人生に涙あり・銭形平次・大江戸捜査網・大岡越前・暴れん坊將軍」等の大曲を含みますが、これらは次回の定演に演奏したいと考えています。

東金シニアアンサンブル 副代表 其原章治

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から練習を自粛。緊急事態宣言が発令された4月以降は全面的に活動を中止しました。残念ながら文化会館で予定していた5月24日の演奏会、直前のリハーサルも1年延期せざるを得ませんでした。6月になると練習場所になっている公民館が人数制限の条件付きながら、いち早く使用できることになり、管楽器を除いて練習を再開。全員参加となったのは7月に入ってからで、それまでは自宅での巣ごもり練習のポイントを大野先生のアドバイスをもとに毎週メール配信して士気を保つよう努めました。再開後の練習は、手指のアルコール除菌、マスクの着用、換気はもとより、各人の間隔を広げて演奏、使用した椅子の除菌など、これまでとは違ったものになりましたが、みんなが集って音楽を楽しめる喜びを噛みしめながら、次の目標に向かって練習に励んでおります。

東京コーモド室内アンサンブル 代表 瀬尾崇子

東京コーモド室内アンサンブルは現在ヴァイオリン9名、ピアノ2名、フルート4名、クラリネット1名の少人数で港区登録サークルとしてアンサンブルを楽しんでおります。2月16日の高輪区民センター主催の演奏会の後、3月以降コロナ騒動が全国的に広がり秋の港区音楽連盟主催のコンサートは中止となってしまいました。通常練習会場としておりました高輪区民センターは、港区の要請により使用できなくなってしまい、8月まで合同練習もできず、メンバーは自宅に引きこもって寂しい思いをしておりましたが、やっと9月になり条件付き（扉、窓開けっ放しで室定員の半数以下、換気に努める、毎回出席者の連絡先など記入）会場が使えるようになりましたのでこの日を待ってましたとばかりに10月18日の港区高輪区民センターのサークル紹介のYouTube撮影に参加することになりました。撮影まで1ヶ月で練習もたった4回で本番という事になりましたが半年振りに会う元気なメンバー（90歳を超えたフルート奏者も含めて）とアンサンブル演奏ができ音楽の楽しさを満喫できました。これからも月1回でもいいのでソーシャルディスタンスを取りながら練習を続けたいと思います。